

シンポジウム

観光の新たなデザイン —— 未来を創る地域の魅力

●プログラム (12:30開場)

13:00~14:00

基調講演『アフター・コロナの観光
—— 観光を「希望の原理」とするために』
遠藤 英樹 (立命館大学 教授・観光学術学会 会長)

14:00~15:30

パネルディスカッション『山陰から発信する地域の魅力』

植田 菜月 (松江 ヤクモイズム / YAKUMOISM 代表)

遠藤 達也 (奥出雲町観光協会 事務局 次長)

小幡 美香 (安来 さぎの湯温泉旅館「竹葉」
どじょうすくい女将)

坂根 めぐみ (出雲 老舗和菓子屋「坂根屋」 取締役)

中尾 寛子 (島根県観光振興課美肌誘客係 係長)

15:45~16:25

研究発表

『島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介と活用』

入月 俊明 (総合理工学部 教授)

『「観光で稼ぐ」から「地域全体で稼ぐ」への転換』

飯野 公央 (法文学部 教授)

16:30~17:30

学生による研究発表 <ポスター発表>

- ・グリーンスローモビリティによる地域課題のソリューション
- ・シェアリングエコノミーが観光産業に与える影響
- ・地質学から考える地域に根差した島根のジオパーク活動
- ・島根観光百科事典：日本遺産「出雲國たたら風土記」(観光実践)
- ・関係人口を含めた農地保全の可能性
- ・山村留学の受け入れ態勢に関する現状と課題
- ・養蜂を活用したグリーンツーリズムの成立条件
- ・隠岐ジオパークにおけるガイドと観光マップの役割
- ・繋ぐ・広げる・伝える和菓子の魅力
- ・文化財の歴史と保存——美保関と隠岐島前神楽

など

2023年 12月16日(土)

島根大学 教養講義室棟 2号館

コロナ禍も一応の収束をみせ、これまでの日常に戻りつつある。また観光客も徐々に戻り、かつての活況を取り戻そうとしている。この状況の中、山陰地域の観光地は新たな、そしてユニークな企画に次々と取り組んでいる。それは単に誘客や経済効果だけを狙ったものでなく、これからの地方都市や地域社会の未来を考えるヒントとなり得る。本シンポジウムでは、山陰観光の潜在的な魅力や価値を再発見し、そこから地域の未来を展望する。



島根大学

参加無料

参加には事前登録をお願いします ▶



主催：島根大学 法文学部 山陰研究センター
共催：島根大学 国際観光教育推進センター

<https://forms.gle/pRXU3F8Y4mmACcAc8>